

## 平成28年度 課題研究講座 「課題研究は難しいですか？」 (2年生及び3年生普通コース対象)

目的 大学の研究者から課題研究の進め方に関する専門的な講義を受けることで、課題研究についての理解を深め、課題研究を円滑に進めることができるようにする。

日時 平成28年6月1日(水) 14時20分～15時10分

講師 広島大学大学院教育学研究科 松浦 拓也 准教授



松浦先生の本校での研究例を用いた分かりやすい御講義を通して、生徒たちは課題研究の進め方について理解を深めることができました。

<生徒の感想>

- 目的の明確化、方法の妥当性、検証可能性を初期段階で吟味することや、オリジナリティを出すこと、出典を明確にすることなど、課題研究を進める上で参考になることがたくさんありました。これからの研究に生かしていきたいと思います。
- 課題を見つけるのは大変だと思いましたが、やりがいがあると思うので課題研究が楽しみです。
- 大学生になって研究テーマを決める時にも参考にしたいと思います。
- 論文や資料をそのまま使っても、それはまとめたただけであり、研究とはいえないと改めて理解しました。オリジナリティのある研究にしていこうと思いました。
- 参考文献が重要になるのが意外だったので使ってみようと思いました。
- 研究の進め方など、とても参考になり、たくさんメモをとりました。これからすばらしい研究になるよう、チーム全員で協議しながら進めていこうと思います。
- 課題が決まった後も、しっかりアンケートや調査を行い、ちゃんとデータとして形に残すことも大切だと思いました。そのデータの統計の方法や注意点などもお話ししてくださったので、今後とても役に立つと思いました。
- 決定した課題を証明するときに、どんなデータが必要か、何個あればいいかなど、みんなが納得してくれるようにすることが大切と分かりました。
- アンケートしたのは良いが、果たしてそのアンケートの結果から課題を解決できるのかという問題もあることが分かりました。
- t検定という言葉ははじめて聞いたので自分で調べてみようと思います。
- 「差がない、違いがない、というのも結果である」が印象に残りました。